

科目名称	経営学					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(必)
英文科目名称	Business Administration					グローバル・コミュニケーション	( )	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	531190	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	出山 実		年次配当	1年次	後期				
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング			<input checked="" type="radio"/> 有・無			
授業概要 及び授業方法	<p>本講義では、持続可能性（SDGs）が求められている現代における経営学のあり方を学習する。そこで、本講義では、次のような問いをもって講義を進めていくことにする。①持続可能性のような複雑な課題にどのように向き合うのか？、②持続可能性が求める個々人の基本的なニーズとは何か？、③持続可能性が求める基本的な原理・原則（ナチュラルステップ）とは何か？、④持続可能性に資する基本的な経営学の基礎理論とは？、⑤持続可能性に向けたビジネスモデルの作り方とは？である。持続可能性の課題は多くの場合、正解があるものではなく、対話をしながら模索していくものである。そこで、本講義では、対話の方法論についても随時学んでいくことにする。講義の方法は、教員による基本的な知識の教授をベースとして、受講生の方々には対話型のアクティブラーニング方式を取り入れた多様な学びを展開したいと考えている。</p>								
関連する科目							卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ⑥	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（対話の方法論）</li> <li>2. 複雑な課題への向き合い方</li> <li>3. 持続可能性と経営学①（基本的ニーズを大切に作る組織）</li> <li>4. 持続可能性と経営学②（自然原則を理解する）</li> <li>5. 持続可能性と経営学③（社会原則を理解する）</li> <li>6. 持続可能性と経営学④（商品・製品のサステナビリティライフサイクルアセスメント）</li> <li>7. 持続可能性と経営学⑤（ビジネスモデルキャンパスの基礎：マーケティング）</li> <li>8. 持続可能性と経営学⑥（ビジネスモデルキャンパスの基礎：組織・生産管理）</li> <li>9. 持続可能性と経営学⑦（ビジネスモデルキャンパスの基礎：会計）</li> <li>10. 持続可能性と経営学⑧（先行事例としてのGNHから学ぶ）</li> <li>11. 持続可能性に向けたビジネスモデルキャンパス①（基礎理論）</li> <li>12. 持続可能性に向けたビジネスモデルキャンパス②（事例検討）</li> <li>13. 持続可能性に向けたビジネスモデルキャンパス③（事例検討）</li> <li>14. 持続可能性に向けたビジネスモデルキャンパスを作成する①（グループ学習、対話形式）</li> <li>15. 持続可能性に向けたビジネスモデルキャンパスを作成する②（グループ学習、対話形式）</li> </ol>								
授業時間外の学習	講義内容に関する予習（事前の調べ学習）と復習（振り返りシートの記入など）を課す（各1時間程度）。								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能性と経営学の基礎的な知識を理解することができる。</li> <li>・企業の活動を俯瞰して、ビジネスモデルとして捉えることができる。</li> <li>・持続可能性に向けたビジネスをしていく上で、原理原則に基づいて、必要となる改善案やビジネスアイデアを生み出すことができる。</li> <li>・対話の基本的なスキルを理解している。</li> </ul>								
課題に対するフィードバック	課題発表に対するフィードバックと試験終了後解説を行う。					評価方法・基準	期末試験（50%）、参加度と課題発表（50%）		
テキスト	講義時にプリントを配付する。								
参考書	特になし								
備考									